



2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 株式会社サイバーエージェント 上場取引所 東
 コード番号 4751 URL https://www.cyberagent.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中山 豪 (TEL) 03-5459-0202
 定時株主総会開催予定日 2019年12月13日 配当支払開始予定日 2019年12月16日
 有価証券報告書提出予定日 2019年12月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期の連結業績(2018年10月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	453,611	8.1	30,825	2.2	30,493	6.8	1,694	△65.1
2018年9月期	419,512	13.0	30,163	△1.8	28,565	△0.6	4,849	20.5

(注) 包括利益 2019年9月期 5,670百万円(△50.3%) 2018年9月期 11,416百万円(△21.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	13.45	12.21	2.1	13.5	6.8
2018年9月期	38.54	36.86	6.0	14.7	7.2

(参考) 持分法投資損益 2019年9月期 △605百万円 2018年9月期 △1,773百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	224,876	110,352	35.2	628.36
2018年9月期	225,484	109,250	36.2	648.10

(参考) 自己資本 2019年9月期 79,169百万円 2018年9月期 81,556百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	14,917	△18,000	△4,662	84,563
2018年9月期	28,394	△22,410	39,748	92,379

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期	—	0.00	—	32.00	32.00	4,026	83.0	5.0
2019年9月期	—	0.00	—	33.00	33.00	4,157	245.2	5.2
2020年9月期(予想)	—	0.00	—	33.00	33.00	—	—	—

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	465,000	2.5	28,000 ~32,000	△9.2 ~3.8	28,000 ~32,000	△8.2 ~4.9	8,000 ~10,000	372.1 ~490.1	63.49 ~79.39

(注) 2020年9月期の連結業績予想につきましては、レンジ形式により開示しております。詳細は、3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）株式会社ゼルビア、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2019年9月期	126,426,600株	2018年9月期	126,426,600株
2019年9月期	434,142株	2018年9月期	587,542株
2019年9月期	125,938,289株	2018年9月期	125,806,863株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年9月期の個別業績（2018年10月1日～2019年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	245,910	7.7	14,698	1.9	23,765	△6.3	16,131	4.0
2018年9月期	228,248	18.7	14,420	14.6	25,361	44.7	15,514	42.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年9月期	128.08		120.88					
2018年9月期	123.32		118.66					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2019年9月期	164,337	89,029	53.6	699.30		
2018年9月期	154,084	75,755	48.5	594.18		

(参考) 自己資本 2019年9月期 88,107百万円 2018年9月期 74,771百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当事業年度の期首から適用しており、前事業年度については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

2019年のスマートフォンを中心とした動画広告市場は順調な成長が予想され、前年比25.4%増の2,312億円に拡大し、2024年には4,957億円に達すると予測されております(注)。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォン市場の成長を取り込む一方で、中長期の柱に育てるため、前期に引き続き「AbemaTV」への投資期と位置付けていることから、当連結会計年度における売上高は453,611百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益は30,825百万円(前年同期比2.2%増)、経常利益は30,493百万円(前年同期比6.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,694百万円(前年同期比65.1%減)となりました。

出所 (注) 当社/デジタルインファクト「国内動画広告の市場動向調査」

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①メディア事業

メディア事業には、「AbemaTV」、「Ameba」、「タッブル誕生」等が属しております。

前期に引き続き、「AbemaTV」への投資期でありつつも、売上を伸ばし、売上高は37,304百万円(前年同期比18.5%増)、営業損益は17,838百万円の損失計上(前年同期間17,764百万円の損失計上)となりました。

②ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)サムザップ、(株)Craft Egg等が属しております。

主力タイトルが好調に推移し、売上高は152,224百万円(前年同期比3.9%増)、営業損益は26,040百万円の利益計上(前年同期比2.9%増)となりました。

③インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

新規広告主の開拓に注力し、売上高は260,212百万円(前年同期比7.8%増)、営業損益は20,609百万円の利益計上(前年同期比3.4%減)となりました。

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は6,428百万円(前年同期比50.8%増)、営業損益は4,593百万円の利益計上(前年同期比74.6%増)となりました。

⑤その他事業

その他事業には、(株)CAM、(株)ウエディングパーク、(株)マクアケ等が属しており、売上高は18,947百万円(前年同期比7.7%増)、営業損益は907百万円の利益計上(前年同期比50.1%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(財政状態)

当連結会計年度末における総資産は224,876百万円(前連結会計年度末比607百万円の減少)となりました。これは、主にソフトウェアの減損損失計上に伴う減少によるものであります。

負債は114,523百万円(前連結会計年度末比1,710百万円の減少)となりました。これは、主に買掛金及び未払金の減少によるものであります。

純資産は110,352百万円(前連結会計年度末比1,102百万円の増加)となりました。これは、主に非支配株主持分の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて7,816百万円減少し、84,563百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは14,917百万円の増加（前年同期間は28,394百万円の増加）となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは18,000百万円の減少（前年同期間は22,410百万円の減少）となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは4,662百万円の減少（前年同期間は39,748百万円の増加）となりました。これは、主に投資事業組合員への分配金の支払によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の業績見通しにつきましては、連結売上高は当期比2.5%増の4,650億円と予想しております。

連結営業利益は、インターネット広告事業、ゲーム事業等の収益貢献を見込み、「AbemaTV」のマネタイズを強化しつつも、中長期の柱に育てるべく引き続き「AbemaTV」への投資をして参ります。ゲーム事業におけるボラティリティ等を考慮し、280億円～320億円とレンジにて予想しております。連結経常利益は280億円～320億円、親会社株主に帰属する当期純利益は80億円～100億円と予想しております。

中間業績の見通しにつきましては、インターネットを取り巻く環境の変化が激しく、当社グループの業績も短期的に大きく変動する可能性があること等から開示しておりません。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,381	84,565
受取手形及び売掛金	49,994	54,917
たな卸資産	750	924
営業投資有価証券	14,816	14,239
その他	12,712	14,093
貸倒引当金	△243	△77
流動資産合計	170,411	168,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,730	8,073
減価償却累計額	△1,614	△1,680
建物及び構築物(純額)	4,116	6,392
工具、器具及び備品	13,807	13,378
減価償却累計額	△8,340	△8,453
工具、器具及び備品(純額)	5,467	4,925
その他	867	1,679
有形固定資産合計	10,450	12,998
無形固定資産		
のれん	1,578	1,196
ソフトウェア	13,244	7,006
ソフトウェア仮勘定	13,183	15,711
その他	573	474
無形固定資産合計	28,579	24,388
投資その他の資産		
投資有価証券	6,748	8,210
長期貸付金	126	243
繰延税金資産	4,343	5,640
その他	4,790	4,711
貸倒引当金	△17	△20
投資その他の資産合計	15,991	18,785
固定資産合計	55,021	56,172
繰延資産	51	41
資産合計	225,484	224,876

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,340	38,151
未払金	12,286	11,563
短期借入金	900	940
未払法人税等	7,069	7,014
その他	13,852	13,080
流動負債合計	72,449	70,749
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	40,637	40,434
長期借入金	91	83
勤続慰労引当金	1,247	1,409
資産除去債務	1,386	1,795
繰延税金負債	329	40
その他	90	10
固定負債合計	43,784	43,774
負債合計	116,234	114,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	5,758	6,181
利益剰余金	63,789	61,090
自己株式	△622	△459
株主資本合計	76,129	74,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,191	5,000
為替換算調整勘定	235	152
その他の包括利益累計額合計	5,427	5,153
新株予約権	988	925
非支配株主持分	26,705	30,258
純資産合計	109,250	110,352
負債純資産合計	225,484	224,876

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	419,512	453,611
売上原価	289,496	320,311
売上総利益	130,015	133,300
販売費及び一般管理費	99,852	102,474
営業利益	30,163	30,825
営業外収益		
受取利息	91	140
受取配当金	110	110
投資有価証券評価益	70	92
助成金収入	25	71
その他	75	120
営業外収益合計	372	535
営業外費用		
支払利息	10	11
持分法による投資損失	1,773	605
その他	186	251
営業外費用合計	1,970	867
経常利益	28,565	30,493
特別利益		
関係会社株式売却益	281	749
固定資産売却益	2	147
事業譲渡益	—	737
その他	696	278
特別利益合計	981	1,912
特別損失		
減損損失	4,741	9,502
移転費用	127	2,769
その他	629	713
特別損失合計	5,498	12,985
税金等調整前当期純利益	24,047	19,420
法人税、住民税及び事業税	14,530	14,896
法人税等調整額	△599	△1,538
法人税等合計	13,931	13,357
当期純利益	10,116	6,062
非支配株主に帰属する当期純利益	5,266	4,368
親会社株主に帰属する当期純利益	4,849	1,694

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
当期純利益	10,116	6,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,176	△251
為替換算調整勘定	122	△132
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△8
その他の包括利益合計	1,300	△392
包括利益	11,416	5,670
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,041	1,420
非支配株主に係る包括利益	5,374	4,249

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,203	4,827	63,316	△674	74,672
当期変動額					
剰余金の配当			△4,025		△4,025
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		16		52	69
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		914			914
連結範囲の変動			△351		△351
親会社株主に帰属する当期純利益			4,849		4,849
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	931	473	52	1,456
当期末残高	7,203	5,758	63,789	△622	76,129

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	4,085	149	4,235	769	19,108	98,785
当期変動額						
剰余金の配当						△4,025
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						69
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						914
連結範囲の変動						△351
親会社株主に帰属する当期純利益						4,849
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,106	85	1,192	218	7,597	9,008
当期変動額合計	1,106	85	1,192	218	7,597	10,464
当期末残高	5,191	235	5,427	988	26,705	109,250

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,203	5,758	63,789	△622	76,129
当期変動額					
剰余金の配当			△4,026		△4,026
自己株式の処分		158		162	320
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		264			264
連結範囲の変動			△366		△366
親会社株主に帰属する当期純利益			1,694		1,694
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	422	△2,698	162	△2,113
当期末残高	7,203	6,181	61,090	△459	74,015

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	5,191	235	5,427	988	26,705	109,250
当期変動額						
剰余金の配当						△4,026
自己株式の処分						320
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						264
連結範囲の変動						△366
親会社株主に帰属する当期純利益						1,694
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△191	△82	△273	△62	3,552	3,216
当期変動額合計	△191	△82	△273	△62	3,552	1,102
当期末残高	5,000	152	5,153	925	30,258	110,352

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	24,047	19,420
減価償却費	8,771	8,924
減損損失	4,741	9,502
移転費用	127	2,769
持分法による投資損益 (△は益)	1,773	605
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	273	△1,655
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,780	△5,142
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,107	△55
未払金の増減額 (△は減少)	1,036	△1,562
未払消費税等の増減額 (△は減少)	962	△3,044
その他	△2,015	△170
小計	41,045	29,590
利息及び配当金の受取額	154	147
利息の支払額	△10	△11
法人税等の支払額	△12,795	△14,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,394	14,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,019	△6,157
無形固定資産の取得による支出	△14,472	△11,096
関係会社株式の売却による収入	141	1,035
貸付けによる支出	△2,061	△1,067
その他	△1,998	△714
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,410	△18,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権付社債の発行による収入	40,542	—
投資事業組合員への分配金の支払額	△396	△999
子会社の自己株式の処分による収入	4,075	—
配当金の支払額	△4,022	△4,026
その他	△449	363
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,748	△4,662
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	△113
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	45,684	△7,859
現金及び現金同等物の期首残高	46,613	92,379
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	81	42
現金及び現金同等物の期末残高	92,379	84,563

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、営業外収益の「その他」に含めて表示していた「助成金収入」は、当連結会計年度において、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、営業外収益の「その他」に表示していた100百万円は、「助成金収入」25百万円、「その他」75百万円として組み替えております。

前連結会計年度において、区分掲記していた特別利益の「投資有価証券売却益」は、当連結会計年度において、特別利益の総額の100分の10以下となったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、特別利益の「投資有価証券売却益」に表示していた497百万円は、「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、特別損失の「その他」に含めて表示していた「移転費用」は、当連結会計年度において、特別損失の総額の100分の10を超えたため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、特別損失の「その他」に表示していた756百万円は、「移転費用」127百万円、「その他」629百万円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「移転費用」、「未払消費税の増減額(△は減少)」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた△925百万円は、「移転費用」127百万円、「未払消費税の増減額(△は減少)」962百万円、「その他」△2,015百万円として組み替えております。

前連結会計年度において、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「関係会社株式の売却による収入」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。

また、前連結会計年度において、区分掲記していた投資活動によるキャッシュ・フローの「投資有価証券の取得による支出」は、当連結会計年度において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた△856百万円は、「関係会社株式の売却による収入」141百万円、「その他」△998百万円として組み替えたうえで、「投資有価証券の取得による支出」に表示していた△999百万円は、「その他」として組み替えております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が1,459百万円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が592百万円増加しております。また、「流動負債」の「繰延税金負債」が1,179百万円減少し、「固定負債」の「繰延税金負債」が312百万円増加しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が867百万円減少しております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別の事業本部及び子会社を置き、各事業本部及び子会社は、サービスの向上と売上及び利益の拡大を目指し、国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部及び子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「メディア事業」、「ゲーム事業」、「インターネット広告事業」、「投資育成事業」、「その他事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属するサービスの内容は、以下のとおりであります。

報告セグメント	属するサービスの内容
メディア事業	AbemaTV、Ameba、タップル誕生等
ゲーム事業	スマートフォン向けゲーム事業等
インターネット広告事業	広告代理事業・動画広告事業、AI事業等
投資育成事業	コーポレートベンチャーキャピタル事業、ファンド運営等
その他事業	ファンサイト事業、スマートフォンサービスの運営等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	メディア	ゲーム	インターネ ット広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	24,728	146,154	228,442	4,263	15,922	419,512	—	419,512
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,760	398	13,008	—	1,675	21,844	△21,844	—
計	31,489	146,552	241,451	4,263	17,598	441,356	△21,844	419,512
セグメント利益又は損失 (△)	△17,764	25,303	21,340	2,631	1,819	33,329	△3,166	30,163

(注)セグメント利益の調整額△3,166百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	メディア	ゲーム	インターネ ット広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	29,736	151,806	248,192	6,428	17,446	453,611	—	453,611
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,567	418	12,019	—	1,501	21,506	△21,506	—
計	37,304	152,224	260,212	6,428	18,947	475,118	△21,506	453,611
セグメント利益又は損失 (△)	△17,838	26,040	20,609	4,593	907	34,312	△3,486	30,825

(注)セグメント利益の調整額△3,486百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	ゲーム	インターネット広告	投資育成	その他	計		
減損損失	232	3,266	912	2	260	4,675	66	4,741

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	ゲーム	インターネット広告	投資育成	その他	計		
減損損失	1,653	4,867	2,591	—	360	9,473	28	9,502

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	ゲーム	インターネット広告	投資育成	その他	計		
当期償却額	—	41	48	—	137	227	—	227
当期末残高	—	324	433	—	819	1,578	—	1,578

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	ゲーム	インターネット広告	投資育成	その他	計		
当期償却額	—	55	19	—	129	205	—	205
当期末残高	—	449	0	—	746	1,196	—	1,196

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり純資産額	648円10銭	628円36銭
1株当たり当期純利益金額	38円54銭	13円45銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	36円86銭	12円21銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	4,849	1,694
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	4,849	1,694
普通株式の期中平均株式数(株)	125,806,863	125,938,289
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(百万円)	△43	△71
(うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円))	(△43)	(△71)
普通株式増加数(株)	4,573,374	6,911,789
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(3,857,566)	(6,285,767)
(うち新株予約権(株))	(715,808)	(626,022)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。